

大型クラゲ等有害生物出現調査及び情報提供事業

和田 由香*・大水 理晴・鈴木 亮

目 的

本調査は平成 20 年度「大型クラゲ等有害生物出現調査及び情報提供事業」の一環として、大型クラゲの出現状況について調査船による洋上調査、県内漁協・漁業者からの聞き取り調査等を行い、広く漁業者等に配信するものである。

材料と方法

1 洋上調査

試験船により、海洋観測時や沿岸資源調査時に目視調査を実施し、結果を漁業情報サービスセンターへ報告した。

2 聞き取り調査

県内の漁協からの出現情報を青森県水産振興課を通じて入手し、漁業情報サービスセンターへ報告した。また、深浦町新深浦町漁業協同組合所属の定置網漁業者 1 名に依頼し、大型クラゲの入網状況について日報の提出を受け、結果を取りまとめた。

3 水温ブイによる水温観測調査

深浦町大戸瀬漁協前沖に設置済みの自動観測ブイによる連続観測を実施した。収集されたデータは、電子メールにより漁業情報サービスセンターほか関係者へ配信した。

結 果

1 洋上調査

試験船開運丸及び青鵬丸により、本県日本海側沿岸から沖合域において、平成 20 年 9 月～平成 21 年 1 月に計 9 回調査を実施したが、大型クラゲの出現は確認されなかった（表 1）。

2 聞き取り調査

調査期間中、大型クラゲの出現は確認されなかった。

3 水温ブイによる水温観測調査

水温のピークは、1m層と 20m層で 8 月第 3 半旬、10m層で 8 月第 2 半旬にあった。8 月第 5 半旬に気温の低下を受けて水温も低下したが、9 月上旬に各層 24℃まで再び上昇し、それ以後は降温した（図 1）。

*青森県東青地域県民局地域農林水産部青森地方水産業改良普及所

表1 大型クラゲ目視調査結果

月日	試験船名	海域	水深(m)	表面水温(°C)	個体数	傘径	調査方法
9月3~4日	開運丸	日本海観測		19.5~25.3	0	-	目視
9月30~10月2日	青鵬丸	日本海観測		17.0~22.1	0	-	目視
10月15日	青鵬丸	出来島沖	181	20.2	0	-	目視・トロール
11月1~2日	開運丸	日本海観測		13.6~19.8	0	-	目視
11月11日	青鵬丸	高山沖	188	18.7	0	-	目視・トロール
11月27日	青鵬丸	出来島沖	102	16.2	0	-	目視・トロール
12月9日	青鵬丸	十三沖	74	15.5	0	-	目視・トロール
1月8日	青鵬丸	日本海観測		12.5~12.8	0	-	目視
1月27日	青鵬丸	出来島沖	104	11.3	0	-	目視・トロール

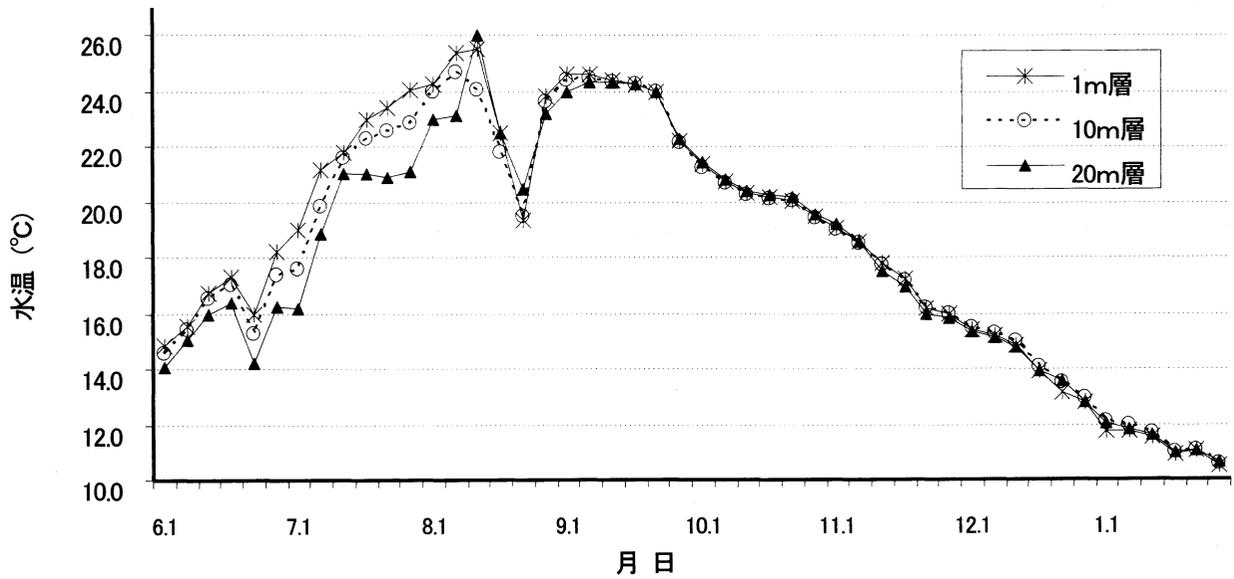


図1 大戸瀬沖における自動観測ブイによる水深別水温の変化